

テーマ：『 地球環境にやさしい学校作り 』

平塚市立 港小学校

Tel. 0463-21-0412 担当者： 加藤 純子



■実践内容：

1. ペットボトルキャップを集めてエコ協会に送り、ワクチン接種に繋げる。
2. 学校環境の整備と充実 <栽培活動>
腐葉土の培養、雨水タンクの作製・利用、学級園・学年園を利用して野菜や花の栽培、アサガオの緑のカーテン
3. 育てた野菜を給食へ利用

■実践成果：

- ・ボランティア委員会を中心にペットボトルキャップの収集を呼びかけ、多くのキャップが集まった。キャップ集めとワクチン接種を結びつけたことで、エコに関する意識が高まったとともに、命の大切さも学ぶことができた。
- ・落ち葉を集めて培養した腐葉土を使い、学級・学年で季節の野菜を育てた。3年生が学級園で栽培した桜島大根を給食の汁物に利用したことで、自然環境に対する興味・関心が高まり、花や作物の生長に対する感動を味わうことができた。
- ・水やりをする際に、雨水タンクを利用したことで、省資源の意識を高めることができた。

■実践ポイント：

ペットボトルキャップの収集には家庭の協力が不可欠のため、学年・学級通信などを利用して各家庭へ呼びかけた。栽培活動が児童の主体的な活動となるよう、作物の栽培計画をたて、実行できるように支援していった。